

～「新しい生活様式」の実践例～

【一人ひとりの基本的感染対策】

感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。
- ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)。※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

【日常生活を営む上での基本的生活様式】

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に)
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養

【働き方の新しいスタイル】

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン

【日常生活の各場面別の生活様式】

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を もしくは自宅で
- 動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用す

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

【出典】厚生労働省HP(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)

編集・発行

リフレッシュ濃尾用水・編集事務局

紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所(しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ)
(〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851)

新濃尾農地防災事業についての紹介動画を作成しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=Zel3FWB9nLo>

【Webサイトアドレス】

☆新濃尾農地防災事業所:

<https://www.maff.go.jp/tokai/noson/shinnobi/>

☆農林水産省: <https://www.maff.go.jp/>

☆東海農政局: <https://www.maff.go.jp/tokai/>

ご意見・ご質問はホームページの
お問い合わせフォームから!

新濃尾事業所PR動画を公開しています。

☆第1弾☆

いちばん知りたいことに答える
土地改良の授業
<https://www.youtube.com/watch?v=UjCciZSH5g>

☆第2弾☆

3分でわかる! 土地改良事業
～新濃尾地区～

<https://www.youtube.com/watch?v=tpOXjBf1UU>

リフレッシュ濃尾用水

農林水産省東海農政局
新濃尾農地防災事業所
2021年7月 第90号

Topics!

- ★「みどりの食料システム戦略」を策定しました
- ★令和2年度の新木津用水路工事が完了しました
- ★「新しい生活様式」の実践例

「みどりの食料システム戦略」を策定しました ～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

食料・農林水産業は、自然災害や気候変動に伴う影響、生産者の減少などによる生産基盤の脆弱化や農山漁村の地域コミュニティの衰退などの課題に直面しています。また、SDGs(持続可能な開発目標)への対応や令和32(2050)年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、食料・農林水産業の分野においても貢献が求められています。このような中、農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務となっております。

このため、農林水産省においては、5月12日「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラルなどの環境負荷軽減のイノベーションを推進していくこととしました。

【2050年までに目指す姿】

- 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現
- 低リスク農業への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減
- 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減
- 耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大
- 2030年までに食品製造業の労働生産性を最低3割向上
- 2030年までに食品企業における持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現を目指す
- エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大
- ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%を実現

【戦略的な取り組み方向】

- 2040年までに革新的な技術・生産体系を順次開発(技術開発目標)
- 2050年までに革新的な技術・生産体系の開発を踏まえ、今後、「政策手法のグリーン化」を推進し、その社会実装を実現(社会実装目標)

※政策手法のグリーン化: 2030年までに施策の支援対象を持続可能な食料・農林水産業を行う者に集中。

・2040年までに技術開発の状況を踏まえつつ、補助事業についてカーボンニュートラルに対応することを目指す。

・補助金充実、環境負荷軽減メニューの充実とセットでクロスコンプライアンス要件を充実。

※革新的技術・生産体系の社会実装や持続可能な取り組みを後押しする観点から、その時点において必要な規制を見直し。地産地消型エネルギーシステムの構築に向けて必要な規制を見直し。

詳細については農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

令和2年度の新木津用水路工事が完了しました

②春日井大手工区その1工事

【工事場所】
春日井市大手町地内
約94m(大手橋周辺～天王橋周辺)
【工事期間】
令和2年10月～令和3年6月



施工前



施工後

④小牧東田中工区(その1)改修工事

【工事場所】
小牧市東田中及び二重堀地内
約130m(南新田橋周辺～東名高速道路横断部周辺)
【工事期間】
令和2年6月～令和3年5月



施工前



施工後

凡 例
 令和元年度まで
 令和2年度
 令和3年度以降



工事期間中は、工事車両の通行、交通規制等で地域住民の皆様にはご不便をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

⑦犬山安師工区その2工事

【工事場所】
犬山市楽田安師及び大口町外坪、ニツ屋地内
約92m(巾下川交差点～王塚橋周辺)
【工事期間】
令和2年10月～令和3年5月



施工前



施工後



①春日井高山工区(その1)改修工事

【工事場所】
春日井市高山町、大手田西町及び朝宮町地内
約261m(田西橋周辺～高山橋周辺)
【工事期間】
令和2年6月～令和5年5月(継続中)



施工前



施工後

③春日井田楽工区その1～2工事

【工事場所】
春日井市田楽町地内
約209m(権現南橋周辺～田楽橋周辺)
【工事期間】
令和2年6月～令和3年3月



施工前



施工後

⑤小牧久保工区その1工事

【工事場所】
小牧市久保一色及び久保一色南地内
約158m(善助橋を挟んだ区間)
【工事期間】
令和2年8月～令和3年3月



施工前



施工後

⑥小牧久保工区その3工事

【工事場所】
小牧市久保一色及び久保一色南地内
約142m(四重橋周辺～金六橋周辺)
【工事期間】
令和2年7月～令和3年3月



施工前



施工後

